

令和6年度「2月度役員会」概要報告

羽根野台自治会は、2月8日（土）に役員会を開催しました。

中野会長から①羽根野台友愛クラブでは、町の出前講座を活用して「介護保険の仕組みについて」の学習会を開催した。自治会としても高齢者が増えている中において、会員が知っておいたほうが良いと思われる課題についての周知に取り組んでいきたいと考えている。②テレビ・新聞報道等で、立木にあるキノコ工場のアスベストが使われている建屋の解体問題が取り上げられているが、近隣住民の健康問題に大きな影響を及ぼす問題であり、早期解体に向けて住民の請願が採択された。自治会としてもその動向を注視しており、羽根野台に住む住民に対する様々な問題が発生した場合には、自治会としても積極的に取り組んでいかなければならないと挨拶されました。

次いで小池副会長から、①町道の補修工事・公園内の樹木の伐採等、行政に対する要請、②1月25日に開催された「地区情報交換会」で出された意見・要望、③2月2日実施した「防災訓練」の取り組み状況等が報告されました。

引き続き、4月6日に開催する第53回総会議案書のうち、渡部会計部長から、令和6年度の決算状況と令和7年度の収支予算案、籠谷会長代行から令和7年度の役員推薦案および羽根野台区長申請についての説明を行い、確認されました。（令和6年度の事業活動状況および令和7年度事業活動計画は、1月11日開催の役員会で確認済み）

次いで、総会にむけた今後の作業スケジュールと総会当日の役割分担について、籠谷会長代行から説明があり確認されました。

以上

